

Wholesale Power Supply

電力卸供給事業



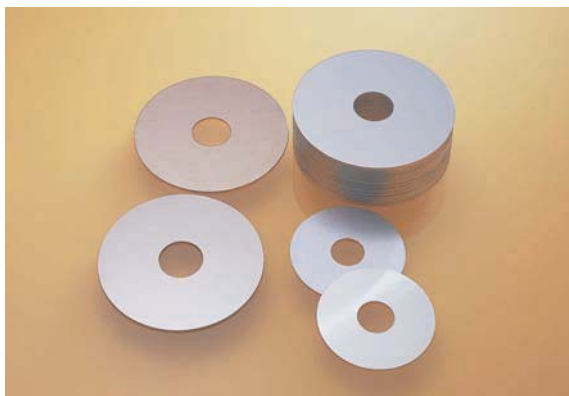
2007年度の事業環境および業績

現在、神鋼神戸発電所では1号機、2号機合わせて最大出力140万キロワットの電力供給体制が整っています。電力卸供給事業の2007年度の売上高は、電力単価に転嫁される燃料用石炭価格の上昇等により、前年度比7.5%増収の718億円、営業利益は前年度並みの180億円となりました。

設備保全のさらなる強化や操業技術の蓄積を図り、安定操業の継続と収益の確保に努めていきます。

Aluminum and Copper

アルミ・銅関連事業



自動車・IT関連分野など、今後の成長が期待される分野に注力し、競合他社をリードしています。生産設備の増強など、「ものづくり力」の強化を進めるとともに、技術開発力を武器に新たなマーケットの創造に取り組み、コスト・品質・顧客サービスにおいて国際競争力を有するリーディングカンパニーを目指しています。

2007年度の事業環境および業績

アルミ圧延品は、半導体・液晶製造装置向け板材が需要調整の影響から減少したものの、飲料用缶材は猛暑の影響もあり需要が増加し、また自動車向け板材や磁気ディスク用アルミ基板も堅調に推移したことから、前年度を上回る販売量となりました。

銅圧延品は、板条の自動車電装部品向けが引き続き堅調に推移しましたが、銅管の国内需要低迷の影響もあり、前年度を下回る販売量となりました。

アルミ鋳鍛造品については、自動車向けサスペンション用鍛造品の需要増を米国における能力増強により着実に取り込んだことなどから、売上高は前年度を上回りました。

以上の結果、販売量が前年度を上回ったことに加え、販売価格に転嫁される地金価格が前年度に比べて高水準

で推移した影響などから、アルミ・銅関連事業の売上高は前年度比13.3%増収の4,500億円となりました。営業利益は、前年度の収益を大きく押し上げた地金価格高騰に伴う在庫評価の影響が減少したことなどにより、前年度に比べ126億円減益の220億円となりました。

戦略および投資

●今後の戦略

アルミ圧延品の需要は、自動車向けパネル材やエアコン用フィン材が堅調に推移する見込みであることから、2008年度の販売量は当年度並みとなる見通しです。銅圧延品については、電子材料用銅板条を中心に当年度より増加する見通しです。

また、中期的には自動車向けアルミ材、半導体・液晶製